

## 会 議 録

|                    |   |   |    |
|--------------------|---|---|----|
| 会議名<br>(審議会等名)     | 第2回川西市障がい者自立支援協議会   |   |    |
| 事務局<br>(担当課)       | 健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課 内線(2666)  |   |    |
| 開催日時               | 平成25年11月19日(火)午前9時59分～11時33分  |   |    |
| 開催場所               | 川西市役所 地下1階 B01会議室   |   |    |
| 出席者                | 委員<br>(敬称略)   | 菅原会長、田口副会長、田籠委員、中谷委員、北田委員、大槻委員<br>秋山委員、植田委員、三木委員、久保委員、蒲原委員、田中委員、<br>桑野委員、副島委員 |    |
|                    | その他   | (欠席委員) 鮫島委員、細見委員、平田委員、土肥委員  |    |
|                    | 事務局   | 根津健康福祉部長、芝福祉推進室長、<br>足立障害福祉課長、福丸障害福祉課長補佐                                      |    |
| 傍聴の可否              | <input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可                                     | 傍聴者数  | 2人 |
| 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由 |   |   |    |
| 会議次第               | 1. 協議事項<br>川西市での障がい児(者)を取り巻く課題について<br>2. 報告事項<br>川西さくら園・さくらんぼの現状と課題について<br>3. その他 |   |    |
| 会議結果               | 別紙のとおり  |   |    |

# 審 議 経 過

No.1

開 会(午前9時59分)

出欠報告

○協議事項 川西市での障がい児(者)を取り巻く課題について

運営会議委員 (「資料番号1」をもとに説明)

会 長 説明が終わりました。ただいま説明がありました内容は、運営会議でワークショップを実施し意見集約したものです。各委員の皆さまから、現状や課題についてご意見をいただきながら現状認識を深めたいと考えますので、順次ご意見をいただきたいと思  
います。よろしくをお願いします。

委 員 成人でも団体に所属されていない方がいらっしゃると思うが、各団体の会員数はどれ  
くらいか。また、再開発に伴う事務所の移転や、再開発には総合的な視点が必要と  
の意見が出ているが、具体的にはどういう問題か伺いたい。

運営会議委員 福祉協会は、約200人です。

運営会議委員 父母の会は、25人です。

運営会議委員 育成会は、100人です。

事務局 再開発に伴う事務所の移転については、各団体から事務所機能を確保してほしいと  
いう要望があり、10月末に公共施設再配置推進室と各団体の皆さんと意見交換さ  
せていただいて、前向きな形で進めているという形になっています。

総合的な視点については、私ではお答えできません。すみません。

委 員 就学前の子どもに関わることが多いので、サポートファイルの作成ができていないと  
いうのは、そうだなと思った。わからなかったのは、市役所体制のところ、個人情報  
が多量で障がい児・者の生き方が見えないというのは、具体的にどういうことなのか  
イメージできない。

事務局 障害福祉課の窓口は、毎日平均50件、多い時は60から70件、ほとんど窓口がいっ  
ぱいという状況があり、個人情報の書類がガバッと来るわけです。うちの仕事という  
のは、障がい児・者の個人情報の処理をしているということで、写真が貼ってあっても  
単なる紙切れにしか見えなくなる。流れ作業のように処理していく。そうでなければ間  
に合わないのは確かなんです。しかし、そうなると、その人の背景、人間が見えてい  
ない気がするんです。現在、接遇強化月間ということで、傾聴に努めます、という標語  
を掲げているが、障がい者自身の気持ちをしっかり受け止めるように取り組んでい  
る。

委 員 国は、障がい者の権利条約批准のために、インクルーシブ教育システムの構築に力  
を入れている。通常学校あるいは通常学級と特別支援学校、特別支援学級の交流を  
深める事業や、通常学校の先生の理解を深めるため、特別支援学校がセンター的機  
能を發揮して研修をしていくなど国の事業がいろいろあって、予算が付いている。通

常学校でも、以前よりそうした必要性を感じられているように感じている。こうしたことが進めば、通常学校にいる子の支援がうまくいくのかなと思っている。

また、放課後等デイサービスの事業所が増えていると感じるのは、放課後、迎えの車が学校の前に、多い時は20台くらい停まる。ここ数年、一気に増えてきた。中に入れるとスクールバスの出入りの支障になるので入れていない。

保護者から、今日はどここの事業所を使うということをきちんと聞いておかないと、誰にでも引き渡すわけにはいかないの、難しい状況が生まれている。多い子は毎日のように利用している。いろいろな事業所を使っている子もいる。

川西は施設が少ないと聞いており、卒業後、遠方の施設へ通う方も多いが、その分、交通費を出していただいており、ありがたいと思っている。

特別支援学校には、支援部というのがあり、子どもに関する課題が出たときには、特別支援コーディネーターが関係機関と連絡をとって、話し合いの場を設け、問題解決していくということで、割とうまく機能しているのではないかと。

委員 社協のピアカウンセリングが、何か月も待たないといけないと聞くが、そういう相談の場を作っていただきたい。

むぎのめ家族会経由でピアサポートをやっているが、相談支援のノウハウがない。社協もカウンセラーを大阪から呼んでいると聞いている。

運営会議委員 社協では、障がい当事者によるピアカウンセリングを実施している。精神障がいの方については、市内の人に相談することに抵抗感を示す人もいるので、神戸からカウンセラーに来てもらっている。何か月もという待機者はないと聞いている。

委員 現状はわからないが、自身の経験から、既に1度カウンセリングを受けているので、次は半年後と言われたこともある。しかし、半年も待てる悩みはないので、今聞いてもらえることが大事である。

ピアサポートに携わっているが、何分スキルがないので、例えば死にたいというような切実な悩みに対応するのは難しい。どういう方が分らずに相談を受けるのは危険なことだと思うので、今は親御さんなどつながりがある方だけで精一杯である。

支援センターに相談しようという気持ちになれる方がいいが、市や支援センターに相談する前に、ちょっと話を聞いてもらえる場を確保する必要性を痛切に感じている。

委員 たくさんの課題があるが、事務局では、緊急性や重大性から見てどう考えているのか、期限を切って明らかにすべきではないか。

事務局 No.3  
そういう取り組みをどうやっていくかを協議していこうということで運営会議を開いたものである。

会長 こういう会議で議論を深めて、課題を絞り込んで、今後の対策を立てる材料にしていきたい。もう少し皆さんで議論いただいて、急ぐ必要のあるもの、長期的に取り組むべきものなどご意見を頂ければと思う。

- 事務局 今後、専門部会を設けて議論していきたい。
- 委員 学校卒業後に行ける作業所などが少ない。また、親亡き後のホームの問題など、行政自体もどう考えていくのかという問題。  
また、災害時の避難場所について、重度の障がい者を抱えている人は不安に感じている。行政からきちんと指定してほしい。
- 委員 全国的に知的障がいの特別支援学校の生徒数が増えている。軽度の障がいの子供が増えている。地域で就労できる企業があればありがたいが、まだまだ少ない。
- 事務局 自立支援協議会が長く機能していなかったが、今年度、皆さまのご協力もあって、こうして2回目の会議を開くことができている。協議会の発展も含めて、中長期的に施策の協議をお願いしたい。
- 委員 こうした協議に意味がないとは言わないが、45年間福祉関係に携わってきて、川西は何の進歩もない。阪神間でピリである。  
生まれたときから重度の身体障がい者は、自分で動くこともできない。勤めることなどなおさらである。川西の社会資源の不足は切実である。ショートステイを受け入れる施設が一つもないのは川西だけである。ひまわり荘を充実させてショートステイを受け入れてもらえないか。民間ではペイしない。
- 会長 税金でやる仕事には限界もあるし優先順位もある。何が一番大事かを見極めるのも大事な作業である。今後とも私どもはそうしたことを頭に入れて、何を大事にしてやっていくかをずっと考えていかなければならないと思うので、よろしくをお願いしたい。

○報告事項 川西さくら園・さくらんぼの現状と課題について

運営会議委員（「資料番号2」をもとに説明）

- 会長 説明が終わりました。  
公的立場として、民間ではなかなかやりづらいニーズが多いということで、こうした提案がなされたものですので、そうした観点からご発言をお願いしたい。現状では待機者があるんですね。
- 運営会議委員 川西さくら園で20名くらい、さくらんぼの方は今からだと4月まで待っていただく必要がある。
- 事務局 基本的には、さくら園を拡充していきたいという考え方に立っておりますが、市の考え方が妥当なのかどうかを含めてご意見を頂きたい。 No.4
- 委員 専門職がいるから、市の中核としてやっていける施設だと思う。休暇や結婚での退職などへの対応について、大学等と提携して研修生を受け入れながら育てていく、そして顔見知りになり、欠員が生じたときに代替で来てもらえるといったことを考えてもいいのではないかと。
- 会長 他に意見やご質問はありませんか。  
ないようでしたら、またこの資料を読んで理解を深めていただきたい。そして、また意見

があれば、事務局へ言ってほしい。

閉 会(午前11時33分)